

# ウンカ発生調査 AIで大幅時短 — 目視では1時間以上の調査時間を3~4分に短縮 —

- ・ イネ害虫の発生調査において、調査板の画像からイネウンカ類(トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ)を自動認識するAIを開発した。
- ・ イネウンカ類3種類を雌雄や幼虫・成虫などに全18分類して、平均90%以上の精度で見分けることができ、特に急速に増殖して激しい被害を引き起こすトビイロウンカは95%以上の精度で見分けることができる。
- ・ 目視では調査板1枚当たり1時間以上かかることもある調査時間を、3~4分に短縮できる。

研究機関：農研機構



調査板を画像化する (2~3分)

調査対象となるイネウンカ類3種18分類

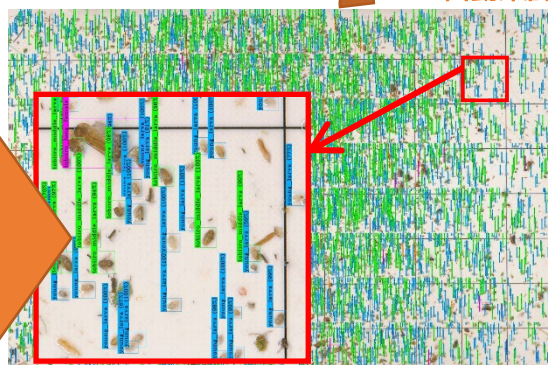
		長翅	短翅	終齢幼虫	中齢幼虫	若齢幼虫
トビイロウンカ	メス					
	オス					
ヒメトビウンカ	メス					
	オス					
セジロウンカ	メス					
	オス		—			

セジロウンカの短翅オスは通常は出現しない

認識結果を自動集計

イネウンカ類計数結果

名称	認識数
トビイロ長翅メス	18
トビイロ長翅オス	2
トビイロ短翅メス	27
トビイロ短翅オス	1
トビイロ終齢幼虫	98
トビイロ中齢幼虫	3355
イネウンカ類若齢幼虫	4819
ヒメトビ長翅メス	0
ヒメトビ長翅オス	0
ヒメトビ短翅メス	0
ヒメトビ短翅オス	0
ヒメトビ終齢幼虫	0
ヒメトビ中齢幼虫	10
セジロ長翅メス	0
セジロ長翅オス	0
セジロ短翅メス	0
セジロ終齢幼虫	1
セジロ中齢幼虫	47



## 導入により期待される効果

都道府県病害虫防除所での定期的なイネウンカ類の調査を、これまでの目視調査よりも、大幅に軽労化・迅速化。誰でも均一な精度で調査できるため、害虫の的確な防除や被害発生予測に貢献する。

連絡先 農研機構 九州沖縄農業研究センター  
研究推進室 広報チーム

e-mail: q-info@ml.affrc.go.jp